

# 南越前家の家計簿

昨年度のわが家の家計です。  
一昨年度と比べてみました。



町の普通会計（一般会計ほか3つの特別会計を合せたもの）の財政状況を一般家庭の家計にたとえ、平成22年度と平成23年度を比較してみました。

町と一般家庭では、金額の規模や使い道が大きく異なり、単純な比較方法では表せないものもありますが、ここでは各年度の住民一人当たり決算額を算出し、一般家庭を6人家族と設定して換算しました。

平成22年度…決算額89億1,147万円÷人口12,005人×6人家族≒445万4千円

平成23年度…決算額94億1,874万円÷人口11,850人×6人家族≒476万9千円

(人口はそれぞれ4月1日現在)

## 家族構成《6人家族》

南越前 豊 (本人・会社員)  
愛子 (妻・主婦)  
蓮 (長男・大学生)  
海 (長女・小学生)  
未来 (次女・幼稚園)  
里子 (祖母)

## 収入

毎年、入ることが決まっている収入 322万5千円

	22年度	23年度	増減
給料等収入(地方税、地方交付税等)	315万1千円	322万5千円	7万4千円
諸手当(国県支出金)	81万円	81万7千円	7千円
預貯金利息等(財産収入)	1万9千円	2万4千円	5千円
預貯金の取り崩し(繰入金)	1万2千円	19万4千円	18万2千円
その他臨時的な収入(諸収入・繰越金等)	17万2千円	25万8千円	8万6千円
ローン(町債)	29万円	25万1千円	-3万9千円
<b>合計</b>	445万4千円	476万9千円	31万5千円
預貯金残高(財政調整基金・減債基金)	111万1千円	106万7千円	-4万4千円

## 支出

毎年、支出することが決まっている経費 290万7千円

	22年度	23年度	増減
食費・日用品費等(人件費)	79万3千円	79万7千円	4千円
光熱水費・電話料等(物件費)	53万9千円	55万6千円	1万7千円
医療費(扶助費)	32万4千円	34万3千円	1万9千円
ローン返済(公債費)	67万7千円	68万2千円	5千円
長男への仕送り(繰出金)	53万7千円	52万9千円	-8千円
車等の修理代(維持補修費)	9万5千円	9万7千円	2千円
お小遣い・区費等(補助費等)	54万1千円	53万6千円	-5千円
家の増改築・大型家具等の購入(普通建設事業費)	64万7千円	104万4千円	39万7千円
貯金(積立金)	27万4千円	15万8千円	-11万6千円
親戚等に貸したお金(貸付金)	2万7千円	2万7千円	0千円
<b>合計</b>	445万4千円	476万9千円	31万5千円
ローンの残高(地方債残高)	508万1千円	478万3千円	-29万8千円

- 平成23年度の家計簿がまとまり、平成22年度と比べてみました。平成23年度の家計はどのような状況だったのでしょうか。
- **収入**  
給料等収入(地方税、地方交付税等)は増えたけど…  
国からの交付税が増加したことによるもので、自主財源である町税は横ばいでした。
  - 預貯金の取り崩し(繰入金)は大幅に増えました。  
家の増改築を行ったものです。
  - ローン(町債)の借入額は、少し減りました。
  - **支出**  
家の増改築などの事業を多く行ったので、普通建設事業費が大幅に増えました。
  - 財政的に余裕がなかったため、貯金(積立金)はあまりできませんでした。
  - 預貯金残高(財政調整基金・減債基金)は取り崩しが多く、積立が少なかつたことにより、7年振りに残高が減りました。
  - ローン(町債)の残高(地方債残高)は、年間の借入額の上限を定めて財政運営をしているため、年々減ってきています。
  - 今後も将来に備えて、ローン(地方債)残高を減らし、なるべく預貯金(財政調整基金・減債基金)を取り崩さないよう支出の不断の見直しが必要です。